



重要文化財 紅白緯切菊桐文段替唐織 桃山時代

能のいでたち

岡山芸術回廊連携事業
特別企画展

備前池田家伝来能装束の世界



簪帯 江戸時代



重要文化財 白地草花文肩襦袢縫箱 桃山時代

平成24年10月12日(金)ー11月25日(日)

- 開館時間 9時～17時(入館受付は16時30分まで) 月曜日休館
- 入館料 一般500円 高校生300円 小・中学生無料 友の会会員 無料
障害者手帳提示の方・付添者 無料 団体(20名様以上)、シルバーカード提示の方 2割引
- 主催 財団法人 林原美術館
- 後援 岡山県郷土文化財団、山陽新聞社、NHK岡山放送局、RSK山陽放送
- ギャラリートーク 会期中の毎週土曜日14時から学芸員によるギャラリートークを行います。
(ただし10月27日はスペシャルギャラリートークを行います。)

岡山芸術回廊連携事業

「美術講座 林原美術館の精華」

11月25日(日)13時30分～15時

●講師 当館学芸員 ●会場 当館ロビー ●会費 無料(ただし入館料は別途必要) ●定員 50名(要予約)

林原美術館

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-7-15
TEL (086) 223-1733 FAX (086) 226-3089
<http://www.hayashibara-museumofart.jp>



「能仕舞図」 池田綱政筆 江戸時代

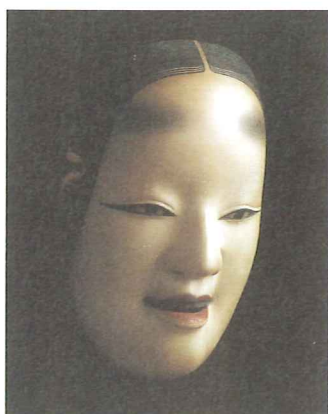
岡山芸術回廊連携事業 特別企画展

能のいでたち

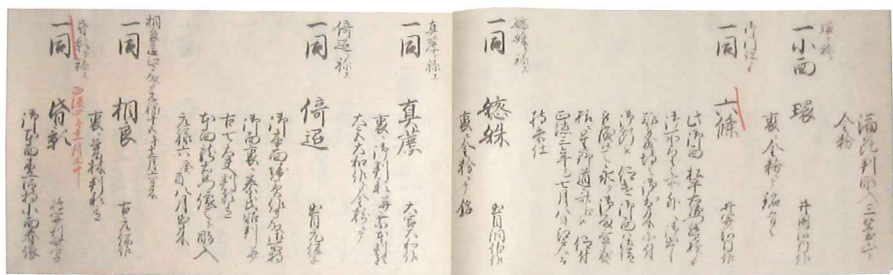
—備前池田家伝来能装束の世界—



能の図押絵手鑑 押絵：法林院品姫作 江戸時代



小面 銘 倚迢 江戸時代



「御面控」 江戸時代

室町時代に能を大成した世阿弥が記した、世界最古の芸術論である『風姿花伝』には、「いづれのものまねなりとも、(中略)したてをもて本とす」とあるように、世阿弥は能の中で「したて」(＝出で立ち)の重要性を説いています。能面とともに、出で立ちの重要な部分をしめるものが能装束ですが、残念ながら世阿弥の生きた時代の能装束は伝世しておらず、我々が見ることのできる最も古い能装束は桃山時代のものとなります。

林原美術館では、江戸時代を通じて能を愛好した岡山藩主池田家伝来の能装束・能面などを多数所蔵しており、日本国内でも屈指のコレクションとして知られています。これらの中には桃山時代のものも含まれており、その華やかな意匠は現代でも我々を魅了してやみません。池田家ではこれらの能装束や能面を、藩主が使用したものを「御召(御上)分」、家臣が使用したものを「御次分」として区別し、大切に伝えてきました。また当館では、歴代藩主自筆の能に関する絵画や覚え書きなども多数所蔵しています。これらの記録類と能装束や能面などの工芸品を組み合わせることで、池田家が伝えてきた能にまつわる文化の全容を知ることが可能になります。なかでも正徳四年(1714)6月27日に記録された「御面控」は、当館が所蔵する池田家伝来の能面がいつ・どこで制作されたのかがわかる貴重な史料で、今回が初公開となります。

岡山藩主池田家伝来の能装束と能面の名品、そしてそれらを取り巻く絵画や記録を一堂に展示し、あらためてその魅力を探ります。

林原美術館

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-7-15 TEL(086)223-1733 FAX(086)226-3089

<http://www.hayashibara-museumofart.jp>

*車椅子対応の設備あります。

交通/JR岡山駅から徒歩25分/路面電車[東山行]県庁通下車徒歩7分

岡電バス[岡電高屋行]県庁前下車徒歩3分

宇野バス[瀬戸駅前・四御神行]県庁前下車徒歩3分



次回予告 企画展「池田家の明治維新」

平成24年12月9日(日)～平成25年1月27日(日)

幕末期に岡山藩主をつとめた第8代藩主池田慶政、9代茂政、10代章政の事績を振り返るとともに、近代になり華族となった池田家が、自家の文化財をどのように維持・管理していたのかを明らかにし、文化財を守り伝えることの意義を考えます。